

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 静岡森林管理署
所在地	静岡県富士宮市
面積	6.17 ha
設定年	1991(H3)年
保護林の概要 (設定目的)	モミを主体とし、スギ、アカマツ等の針葉樹にカシ、シイ、シデ類やヤブツバキ、カエデ類等の広葉樹が混交する房総半島南部の代表的な天然林であり、学術上貴重である。このため、モミを主体とする群落の希少な個体群を保護するため設定する。



ブナ・カエデ類混交群落(2019.09.26撮影)



ブナ群落(2019.09.26撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを合計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	ブナとカエデ類が混在した混交群落が形成され、本保護林の設定目的は維持されている。ニホンジカの生息密度が非常に高い地域であり、シカ柵外の草本層では、ニホンジカの採食圧による植被率の低下が見られる一方で、シカ柵内の草本層は植被率が回復しており、シカ柵の有効性が示された。今後の群落の更新に対する影響を注視する必要がある。